

たいです。

でも、中学生になると、部活があったりして遊ぶ時間も少なくなるので、自信がもてません。

勉強もやらないと困るし、遊びたいし、なんとかうまくいかないかなあと考えています。

友達も仲のいい人をたくさんつくっていききたいです。

残された小学校生活をしっかりとやって、楽しい中学生の生活がおくれたら最高だと思います。



6年 越川美千代

もうすぐ中学生

もうすぐ小学校へ通う日も終わる。私は、中学生になるのだ。毎日のように手紙で中学生になったらという広告が家に来る。これをながめてみると、中学生になるんだという実感がわいてくる。

先日、光町商工会の人が、学校に来て、制服の寸法を測った時この服をこれから毎日着て学校へ行けるのだ、あの中学生のお姉さん達と同じになるのだ、こう考えると私はうれいしように、なぜか少し不安になってしまふ。

中学生になったら、今よりもっと勉強もむずかしくなるし、英語も出てくる。

今、お姉ちゃんが、英語でやんでいるけど、私は、あんならないように、一年の時から毎日復習をしなければならぬ

事がわかった。

クラブ活動も、何に入るか、今いろいろ考えている。三年間続けられる部に入りたい。陸上も、バレーも、テニスもみんなやってみたい。身体が小さいけど、心の中では、人一倍中学に入ってから的事を考えている。



6年 聖 齊藤

卒業を控えて

今、ぼく達は、小学校生活を終わろうとしています。

さようなら！この新しく素晴らしい校舎やお世話になった先生とも、もうお

別れます。

思えば、入学式の日は、曇りはだ寒く、記念写真をとる時などふるえていました。まるでその時のぼくの気持ちのようでした。

これからの学校生活が不安で……でも、楽しい六年間でした。先生のお

宅までみんなでおしかけてカレライスをごちそうになったり、またサイクリングに行ったりしました。先生にはご迷惑だったかもしれませんが、とても楽しかったです。

小学校のようなペースで中学校生活を送ることはできないと思いますが、楽しい中学校生活にしたいと思います。

シリーズ ②④

我が家の家庭教育

篠原 宇井清子

私は自分自身をみて、教育熱心では決してない親のように思っています。

子育ての方針など別にないし、ただ、その時その時子供と一緒に生活していくという事だけを思っている程度だから。

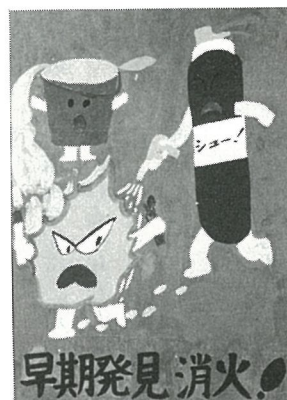
ふだんは、テレビマンガを見て、一緒に声を出して主題歌を歌い、声を出して笑い、そして涙を流す。感想を言ったり言わなかったりいろいろですが、母親も仲

間の一人になりたいと思ってやっています。でも、子どもが悪い時は、子供達を家から放り出して締め出しをした事が何度かありました。子ども達の方から、悪いと認めて謝るまで入れないのです。良い気持ではないけれど、その時そうしなければならぬ気持ちで、子ども達が良くなって欲しいから、家だつて社会だつて甘くはないぞと教えたいから。

子ども達から見れば、ヒステリックなカミナリかもしれないが、親が本気であなた達の事を思っている所を見せるのだけれど、子ども達はどう思っているのか、どう心に残っているのかは解りません。「又始まった。」なんて思っているかもしれませんね。

怖いのは
消したつもりと
消えたはず

2月28日～3月13日
(春季火災予防運動)



防火ポスターの部で最優秀賞に選ばれた、東陽小6年平山友紀さんの作品です。